

就労移行支援施設で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の養成施設である「視力障害者福祉センター」ってどんな事を学ぶの？

少しでも知っていただくために、授業科目の解説を企画しました。シリーズ化していくつもりなので、これから学んでみたい方々の参考になればうれしいです。



授業を受け持つ教員に、どんな科目か聴いてみました

その 2 解剖学（かいぼうがく）



基本的な質問ですが 実技ですか、座学ですか。



座学です。



科目として1年間で修了しますか。



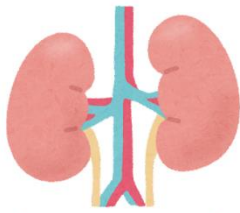
内容が多岐にわたるので修了には3年かかります。



主にどのような内容ですか。



「解」は分ける、「剖」は刀で開くという字の意味の通り、人間の体を開いて分け、「形や場所」に軸をおいて話す分野です。



【腎臓のイメージ】

例えば尿をつくる腎臓はおなかの中で背中近くにあります。その形がソラ豆やインゲン豆にとっても似ていると話したりします。

これは、英語で腎臓が「Kidney」、インゲン豆は「Kidney beans」となることから、海外でもそのように思われているようです。

一方、腎臓が生きる上でどんな役割をしているかは解剖学よりも生理学の分野となります。

このように、**解剖学は形や場所の視点から、人体を理解するための基礎知識**となります。



あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう全般に関わる科目ですか



もちろん、人体を理解する基礎となりますので、あん摩、はり、きゅうはおろか**医療系職種全般に関わる不可欠な科目**です。



おすすめの体得するポイントは、ありますか



解剖学で話す内容は多量で複雑ですが、決して他人事ではなくすべて自分の体にも当てはまるものなので、**自分の体も教材**として**活用**するとイメージしやすいと思います。

(編集担当 市田)